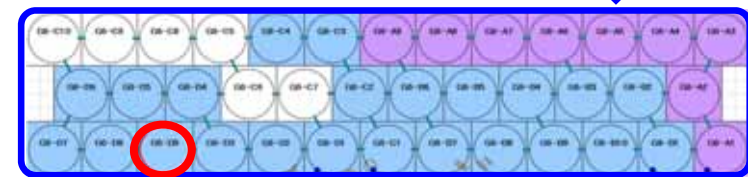
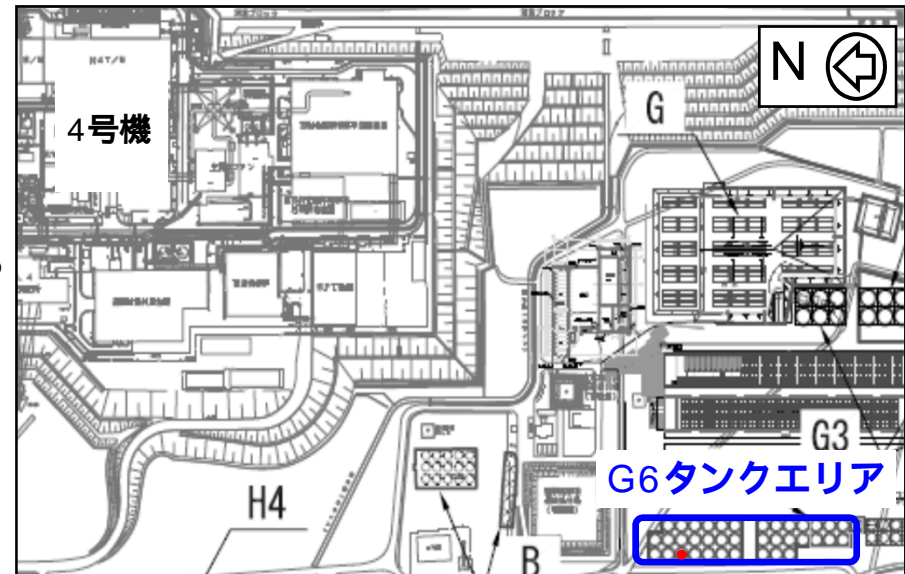


福島第一原子力発電所 G6タンクエリアD9タンク 水移送時におけるタンク天板の損傷について

< 参 考 資 料 >
2019年10月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

概要

- 本日(2019年10月8日)、G6エリアの新設したタンク3基(G6-D6,D7,D8)の水張り・漏えい確認のため、隣のタンク(G6-D5とG6-D9)から水(多核種除去設備処理水)を移送していた際、周囲で聞こえる音が通常よりも大きいことから、現場の確認を行いました。
- 隣のタンクであるD8タンク上部より確認を行ったところ、D9タンク上部に変形が確認されたことから、D8-D9(D9の出口側)、D3-D9(D9の入り口側)タンク間の連結弁を閉じました。その後、タンクの変形が落ち着いたことから、D9タンク天板を確認したところ、変形および約20mmの穴が3カ所確認されました。
- この損傷に伴う周囲への漏えいは無く、周辺モニタリングポストに変動がないことを確認しております。
- 今後、原因を調査し、対策を講じてまいります。



G6タンクエリア (D9タンク) 位置図



タンク天板損傷箇所

時系列

- 10:00 現場集合・ラインナップ確認
- 10:10 水移送作業開始 (G6-D6,D7,D8)
- 10:45 タンク下部より確認したところ天板に設置されている手摺りの変形を確認。
- 10:49 G6-D8, D9連絡弁「閉」
- 10:51 G6-D3, D9連絡弁「閉」